令和６年度　学校運営連絡協議会実施報告書

１　組織
（１）都立練馬高等学校全日制課程　学校運営連絡協議会
（２）事務局　教務部主任（事務局長）
（３）内部委員（９名）
　校長，副校長，経営企画室長，教務部主幹教諭，生活指導部主任教諭，進路指導部主幹教諭，
　１学年主任，２学年主任，３学年主任
（４）協議委員の構成（７名）
　学識経験者兼同窓会役員　２名，近隣小学校長　１名，地域の関係機関の代表　４名

２　令和６年度学校運営連絡協議会の概要
（１）学校運営連絡協議会（第１～３回）の開催日時，出席者，内容，その他
　第１回　令和６年６月１４日（金）内部委員５名，協議委員２名
　　協議委員委嘱，委員紹介，評価委員の選出
　　学校経営計画，昨年度の学校運営連絡協議会の課題
　　本校の現状と課題等説明，意見交換
　第２回　令和６年１０月２８日（金）内部委員８名，協議委員５名
　　授業公開，これまでの教育活動に関する報告
　　協議委員からの教育活動に対する意見，学校評価の内容検討，協議
　第３回　令和７年２月７日（金）内部委員６名，協議委員３名
　　学校評価の報告及び学校運営に関する提言，協議
　　次年度に向けた方向性の確認
（２）評価委員会の開催日時，会場，出席者，内容，その他
　第１回　令和６年１０月２８（金）内部委員３名，協議委員２名
　　今年度の学校評価の観点・項目，内容の検討，実施時期の検討
　第２回　令和７年２月７日（金）内部委員２名，協議委員２名
　　アンケート集計結果の分析・考察，課題の整理

３　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）
（１）学校評価の観点
　・生徒，保護者，教職員が，本校の教育目標･教育方針・教育実践を，どの程度理解・評価しているか。
　・生徒，保護者，教職員が，本校の日常の教育活動に，どの程度関心をもち，評価しているか。
（２）アンケート調査の実施時期・対象・規模
　・令和６年１２月　　全校生徒　　３１１名　　回収率；　４６％
　・令和６年１２月　　保護者全員　　１６２名　　回収率；　２４％
　・令和６年１２月　　教職員全員　　３４名　　回収率；　８５％
　・令和６年１２月　　地域　　２名
（３）主な評価項目
　学校運営，学習指導（習熟度別授業，選択科目，土曜授業，土曜講習等），生活指導，進路指導，特別活動（学校行事，部活動，生徒会活動，ホームルーム活動等），健康･安全，施設・設備について，いじめ防止基本方針について
（４）評価結果の概要　（校長や学校全般への意見・提言内容）
　令和６年度学校運営連絡協議会学校評価は，令和６年 12 月に，生徒・保護者・教職員を対象に実施した。生徒回答数は 311 名で，回収率は 46％である。保護者回答数は 162 名で，回収率は 24％である。教職員回答数は 34 名で，回答率 85％であった。
（５）評価結果の分析・考察
【分析】
1　学校生活について
　① 本校に入学してよかったと思うについての設問において，肯定的回答は，生徒は 73％(76％)，保護者は 77％(100％)であった。教職員は 82％(67％)である。
　② 学校行事（文化祭・体育祭）は充実していますかという設問において，肯定的回答は，生徒は 76％(79％)，保護者は 68％(94％)であった。教職員は 71％(67％)である。

2 教科指導について

① 授業はわかりやすく工夫され充実していますかについての設問で，肯定的評価は，生徒は71%(70%)，保護者は68%(94%)，教職員は71%(67%)であった。

② 習熟度別授業や少人数授業についての設問において，肯定的評価は，生徒は習熟度別78%(78%)，少人数 66%(67%)，保護者はそれぞれ 58%(62%)，55%(75%)となっている。教職員はそれぞれ73%(73%),67%(80%)の回答であった。

③ 夏季講習が学力向上に役立ったと思いますかの設問で，生徒は41%(43%)，保護者は27%(50%)，教員は65%(60%)であった。

3 生活指導について

① 生徒指導は適切に行われているかという設問では，教員の 64%(80%)が理解を得られていると回答した。また，規則はきちんと守られているかという設問では，生徒は 28%(40%)，保護者は48%(75%)が肯定的回答であった。

② 本校教員は，あなたの悩みや相談に親身になって対応してくれますかという設問で，生徒は72%(65%)，保護者は57%(87%)，教職員は91%(86%)が肯定的回答であった。

③ 部活動に積極的に取り組んでいますかという設問では，生徒は83%(80%)，保護者は69%(49%)，教職員は80%(86%)が肯定的回答であった。

4 進路指導について

生徒の適性・希望を生かした進路指導を実施していますかの設問では，生徒は70%(65%)，保護者は47%(87%)，教職員85%(60%)が肯定的回答であった。

5 地域アンケートから

「（２）練馬高校生の服装やマナーは好感が持てると思う」について100%であった。

【考察】

生徒・保護者・教職員ともに昨年度に比して回答率は上昇した。項目によって異なるが、結果は昨年度と大きな違いは見られなかった。

1 本校に入学してよかったと感じる生徒，保護者、教員の割合が高い。体育祭や文化祭をはじめとする行事を通して，生徒一人一人の達成感や成就感が高まっていると感じる。

2 募集対策活動では，中学生の減少、私学進学についての実質無償化など、近隣高校含め、受験者数の大幅な低下が例年、続いているが、昨年度に引き続き在校生に様々な機会を提供することができた。学校説明会で来校した中学生や保護者からも，高校生と直接交流できることは好評だった。

3 数学・英語の習熟度別授業及び英語・家庭総合（２年）の少人数授業は，７割以上の生徒が学力向上に役立っていると感じている。

4 自宅学習時間（塾含む）は、全くやらないが約半数，30分未満が２割程度となっており，全くやらない生徒の割合が昨年同様多い。夏季講習の有用性については，全体で４割以上となっており、支持が得られている。

5 清掃や美化運動に積極的に取り組んでいると肯定的に答えた生徒は44%(47%)。部活動生徒を中心に，学校説明会等の前日に校舎内清掃に取り組む生徒が多い。

6 部活動に関しては８割以上の生徒、７割近い保護者が肯定的意見を述べている。練馬高校での地道な日々の活動が理解されているようだ。

7 進路指導については，多様な進路に進む生徒に対し，個別の丁寧な指導体制をし、「個別指導の練馬」として生徒一人一人にあった進路指導の充実させている。

8 国や都が取り組んでいる働き方改革について、教員の半数以上が効果を感じていない。教職員の負担軽減や一層の協力体制の構築が求められる。現状は教員の数も減少傾向にあり，校務への影響は当然のこと，生徒指導・教科指導に充てる時間が減少している。この状況を改善しない限り表面的な取り組みだけで練馬高校を「より良く」していくことは難しい状況である。

４　学校運営連絡協議会の成果と課題

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・協議委員から，本校の教育活動に対して具体的な提言をいただくことが出来た。

・学校運営連絡協議会において，各分掌主任に学習指導，生活指導，進路指導等，日常の教育活動について協議委員に報告させることで，課題意識をより明確にできた。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・更なる進路指導の充実と進学実績の向上，授業の改善と充実，部活動の活性化，盗難防止の取組。

５　学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

（１）　学校運営

・学校経営計画を指針に，更なる各分掌・学年の組織的な取組みが必要である。

・学年の変化を定点観測し，学年の課題の把握と改善をし，より良い学年経営を実践する。

・募集活動を強化し，広報活動を充実させ，充実した本校の取組の周知を徹底させる。

（２）　学習活動

・平常時の放課後補習・試験前補習・長期休業中補習・補講の実施，授業内容のレベル向上等授業充実に向けた取組みの更なる実践。

・教員相互の授業見学及び研究授業の充実と教員の授業力向上。

（３）　特別活動

・生徒会，委員会活動，部活動を活性化させ，生徒の自主・自立性を育てる。

（４）　生活指導

・集団生活で守るべきルールやマナーについて指導し，社会性を身に付けさせる。

・頭髪指導・遅刻指導・身だしなみ指導等をさらに徹底させる。

（５）　進路指導

・３年間を見据えた年間指導計画（夢・人プラン）に基づき，多様な進路目標を持った生徒一人一人に対応できる指導を行う。生徒個々に対応したきめ細かな進路指導を行い，生徒の進路希望１００％の実現をめざす。

・一般受検希望者を増やし，進学実績を向上させる。

（６）　教職員

・教職員一人一人が組織の一員として，個人の課題を明確にし，学校の課題解決に取り組む。

６　「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（１）協議委員人数　７人

（２）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	1	1				